

オープンハウス及び意見交換の場の開催結果概要について

1 概要

(1) 日時，来場者数

【オープンハウス（地盤補修工事箇所の周辺）】

令和5年6月16日（金） 午後6時～午後8時30分 （21人）

令和5年6月17日（土） 午前10時～正午 （9人）

【意見交換の場】

令和5年6月17日（土） 午後1時～午後3時10分（21人）

【オープンハウス（調布市域）】

令和5年6月17日（土） 午後3時30分～午後5時50分 （37人）

(2) 場所

調布市立滝坂小学校

2 意見交換の場での住民意見

(1) 地盤補修の施工について

- ・表層部には緩みがないということが理解できない。有識者委員会の中には空洞の専門家もいるので，専門家に文書をだしてもらって説明して欲しい。
- ・地盤補修の着手日は決まっているのか。
- ・若葉町のヤードはどのように使われるのか。買取の基準はどうなっているのか。不公平さがあるように感じる。

(2) 都橋の配管について

- ・都橋の配管による道路の勾配が急で，近隣の住民は迷惑している。それが解決するまで工事を進めないで欲しい。
- ・施工前に市に占用申請があったと思うが，その時点で危険性が見えなかったのか。
- ・通行時の安全確保のために常に警備員がいるが，気が休まらない。
- ・地盤補修を進めてほしいという意見があることも理解するが，誰かを犠牲にして我慢させてまで進めるのか。
- ・警備員が深夜でも大雨でもひとりで立っているが，大変なのでポリスボックスのようなものを設置して改善できないのか。
- ・都橋に関しては目前の家の方だけでなく，そこを通行する多くの方にも影響する。

(3) 騒音・振動・低周波音について

- ・低周波音について，住民が状況を確認できるよう現地で試験施工して計測し，改善を図ってほしい。

(4) 地下水の観測について

- ・今後も安心して住んでいくために工事中だけではなく改良体ができたととも中長

期的にモニタリングをして、その結果を専門家に相談して住民に公表して欲しい。

- ・地下水の変位は降雨時に比べ影響が少ないとのことだが、基本となる地下水位が20センチ変化するが本当に大丈夫なのか心配。地盤改良体を水が回り込んだ時に流れの早いところができるのではないか。

(5) 地盤補修後の対応について

- ・地盤補修後の土地利用に関する記述について、発注者（ネクスコ東日本）のガバナンスとして、受注者（鹿島 JV）に勝手に売らせないということだと理解しているが合っているか。

(6) 補償について

- ・地盤補修後に地盤に変状があった場合はネクスコが永年補償してくれるのか。
- ・明確に判定できない風評被害のようなことについて、対応は難しいと思うが相談にはのってほしい。

(7) 情報発信について

- ・トンネルの掘進位置を HP で公開しているように、日々の工事情報や地下水モニタリングの結果などを WEB で公開してほしい。
- ・高齢者も多くインターネットを見れない人もいるので掲示板への掲示も検討してほしい。

(8) その他

- ・大泉側の本線トンネルが進んでいて東名側は止まったままだがどうするのか。
- ・大臣は各方面と適切に対応すると言っていたが、どこを何を検討しているのか。一度工事を止めるべき。
- ・東名立坑から掘進した本線トンネル（南行）は工事差止仮処分のため止まっている。再発防止対策ができれば工事が進むということか。
- ・企業としての説明責任を果たすため社長が現地に来て説明や謝罪をしてほしい。
- ・業務としては JV が対応しているが万が一の時にはネクスコ東日本が責任を持つということを明文化してほしいという要望についての検討状況は。
- ・この工事を止めているときに一日いくらかかっているのか。設備の維持費や供用開始したら入る収益が入らないなど損失があると思う。補償や地盤補修の対応に要している費用と対応が見合っているのか。今の買取や補償等のルールで、結果的に事業者・市民ともに苦しんでいるのであれば、そのルールを変えるべき。